

令和5年度下期「電力利用効率化見学会」を開催しました

11月2日(木)に北九州地区で開催、15社25名に参加いただきました。

大和ハウス工業株式会社九州工場さま、及び、UBE三菱セメント株式会社九州工場さまを訪問しました。

【大和ハウス工業株式会社九州工場さま】(午前)

鞍手郡鞍手町にある同工場では、企業及び工場の概要、製品である住宅の構造材・パネル等の製造工程を説明いただきました。その後工場内を移動し、生産ラインにおける省エネルギーの取組みや環境保全対策(廃棄物の徹底した分別とリサイクル等)を視察し、省エネルギーに関する質疑応答を行っていただきました。

住宅フレームの製造にあたり溶接工法からカシメ・リベット接合工法に変更、また攪拌が不要な塗料を塗料メーカーと共同で開発する等、製造方法や原料等の見直しにまで踏み込んで省エネルギーに取り組まれていました。そして、各製造工程のエネルギー使用量の把握に努め、使用状況を分析して最適な運転方法に改善するとともに、自社のエネルギー管理ノウハウを「工場用エネルギー管理システム」として商品化し、他社への展開を図っていました。



【UBE三菱セメント株式会社九州工場さま】(午後)

会社の沿革、工場及びセメント製造工程の概要を説明いただいた後、我々のバスに同乗して工場内の設備を案内・説明いただき、最後に省エネルギー取組みの説明と質疑応答を行っていただきました。

セメントの製造工程は大量の熱とCO₂が発生することから、カーボンニュートラル実現に向けてCO₂排出量削減を喫緊の課題として取り組んでおり、高効率の燃焼あるいは冷却機器の導入、再生油・廃プラスチックを燃料に使用等に取り組んでいました。



【見学会参加者のコメント】

「他社も工夫を凝らして省エネに取り組んでいることが分かり、共感を覚え、励みになった。」

「設備使用状況の見える化と、設備運転を最適化する取組みが参考になった。自社への導入を検討したい。」といったコメントをいただきました。

今後も賛助会員の皆さまの省エネルギー推進の参考になる見学会を実施してまいります。